

職員ペンリレー

全国で有名な温泉は数知れず存在します。その中で私の地元、岐阜県の温泉を紹介したいと思います。私は泊まりで温泉に行くことはなく、日帰り温泉を楽しんでいます。「温泉に入りたいな」と思い経った時、車に乗りぶらりと出かけます。いつも高速道路は使わず一般道路で、景色を楽しみながら心を癒し目的地を目指します。岐阜県は山国と言うこともあり秋は紅葉、冬は雪景色が楽しめます。また、鮎が有名で鮎料理の店も沢山あります。道中お腹が減れば寄り道をして鮎の塩焼き等を食べて向かうこともあります。

さて飛騨の温泉には奥飛騨温泉郷なる所がありますが、平湯・新平湯・福地・栃尾・新穂高の各温泉地を合わせて奥飛騨温泉郷と言われています。ここの温泉は多治見からも遠く時間がかかる為、訪れた際は2・3件はしごをして帰ります。1温泉につき20分程度の入浴です。慌ただしいですが、各温泉共に泉質が違い癒されます。露天風呂からの眺めは良く、川のせせらぎを聞きながらの入浴は最高に気持ちが良いものです。因みに日本三名泉の1つ下呂温泉の泉質は、アルカリ性単純温泉で滑らかな肌ざわりになり美容にも良いですよ。日帰りならば幸乃湯旅館に併設された公衆浴場で、大人370円の格安で入浴できます。もっとも私が好きな温泉は、養老温泉の「みのり乃湯」です。料金は少し高めですが、源泉かけ流しで湯の色が茶褐色です。これぞ温泉という気分になります。またライトアップが綺麗な温泉は、板取川温泉の「バーデェハウス」です。ライトアップされた岩の露天風呂に、ゆったり浸かっていると疲れも吹っ飛びます。ここの温泉は下呂温泉に似た泉質なので、肌がつつるすべすべになる美肌効果があります。よかったら皆さん参考にしてみてください。

(生活支援員 柳生)



今後の行事

2月 1日 節分会

2月17日 家族会役員会

3月 1日 ひな祭り

3月24日 家族会役員会

3月31日 職員お別れ会

◇編集後記◇

新しい年もすでに2月を迎え、毎日があっという間に過ぎていくのを実感しています。藤川の里だよりも108号を発行することができ、皆様に読んでいただけることを嬉しく思います。前号から始まった職員のペンリレーも楽しんでいただけると幸いです。今年もどうぞ、よろしくお願いします。

発行/ (社福)愛知県厚生事業団 ～おもいやりを かたち～

愛厚藤川の里(障害者支援施設)

〒444-3523 岡崎市藤川町字堤ヶ入1-2

TEL (0564)48-6130 FAX (0564)48-8905

第108号

平成30年

2月1日発行



藤川の里だより 第108号

新たな時代へ

主査(総務) 市川和彦

平成三十年、明けましておめでとうございます。ご存知のとおり、来春には新しい時代が訪れることが決まり、この一年は「平成」の世として特に貴重な年となるでしょう。昨年、四十歳となった藤川の里にとっては、ハード・ソフト面ともに新時代へ向けての取り組みを強化する一年としていかなければなりません。

昭和五十二年五月設立した当所は、先述のとおり昨年四十周年を迎え、十一月五日には愛厚藤川の里四十周年記念式典・家族交流会を開催することができました。



開催にあたり、手作り封筒や記念品の箱詰め等参加者への配布物の準備作業、長年歌い継がれた「藤川寮歌」の練習……ご利用者の皆さんの想いも込められ、当日は祝膳をいただきアットホームな行事となりました。



40周年記念式典にて

ご臨席賜りました岡崎市長 中田正儀様を始め、藤川学区総代会会長 中田正儀様を始めとする関係各位の御厚情に感謝いたします。また、これだけ長きに渡りこの地において安心・安全・快適を目指し運営できるのは、ひとえに地域住民の皆さま、近隣関係機関各位の御理解、御協力の賜物と深謝申し上げます。とりわけ、ボランティアとして支え続けてくださっている皆さまにあっては改めて感謝すると共に、今後も引き続きお力添えをお願いいたします。

さて、新たな時代へと歩みを進めるために、これから取り組むべきとして準備している事業を少しご紹介します。

まずは地域における「買い物バス」への協力です。藤川学区福祉委員会では、平成二十五年十一月から毎月三回、地域のお年寄り等の買物不便者に対し、近隣スーパーや量販店などへの買物支援手段として、バス会社と委託契約を結び運行されています。しかし、現在は学区負担金、市の補助金及び企業寄付などで賄われていますが、それは恒久的財源ではありません。今後ますます高齢者が増え買物不便者も増加する地域ニーズに対し、藤川の里ができることは何か議論を重ねた結果、運行継続のため当所所有のマイクロスバス(運転手付き)を使っていたくことになりました。初めは月一回程度からですが、少しでもお役に立てれば幸いです。藤川学区の皆さまどうぞよろしく願います。

もう一つの新しい事業は「改築」です。今年から本格的な調査等を行い、東京五輪の頃には着工したいと考えています。具体的にはこれからですが、近隣の皆さまにはご迷惑をおかけすることになると思います。御理解、御協力いただきたくお願いいたします。



★職場研修結果報告

「権利擁護～虐待防止・身体拘束禁止」



研修中の様子です。



ありがとうございました。

岡崎市虐待防止センターのスーパーバイザー大木氏を講師に迎え研修をしました。

概要は、昨年起きた「相模原事件」を基に、やまゆり園利用者の今後の生活について、一人ひとりが何処で誰と生活するのかの選択の機会が確保されるように、「入所施設」や「地域での生活（グループホームなど）」等複数の選択肢を用意し、全員に意思決定支援を実施していく方向性であると説明がありました。意思決定支援とは、特別なものではなく、現在私たちが利用者の意向に沿った支援をしていることが意思決定支援であり、その中で、選択する機会や選択肢が増えるような経験をしてもらうことが大切であると話がありました。

最後に講師の方が大切にしている理念として、『支えの信条』の動画を紹介してくださいました。（一九九五年、カナダで障害のある子どもが殺害された事件から、意思決定（権利擁護）の取り組み信条として発表されたもの）

『支えの信条』：一度皆様もぜひ検索を！（次長 山本）

岡崎市障害者作品展に出展！

第三八回 岡崎市障害者作品展に、藤川の里からは十五名の方が出品しました。塗り絵、ビーズ、ビートルマット、刺し子等さまざまな作品が出来ました。刺し子やビートルマットのように、作品によっては時間を要するものもあり、利用者様は手芸の時間はもちろん、普段も居家でコツコツと、作品作りに励まれています。

作品をつくっている時の利用者様の表情は、どこか楽しんでいる様にも見えました。色を塗ったり、ビーズを通したり、布に糸で柄を刺したり、活動中は集中する姿もありました。日々の生活が充実したものであれば、人生も豊かなものとなるでしょう。作品作りが、そうしたきっかけの一つになるのであれば、続けてゆくとが大切ではないかと思えます。

（生活支援員 酒井）



出品した作品です。上手く出来ました！

あいち障がい者フライングディスク大会

11月19日に、第16回あいち障害者フライングディスク大会に藤川の里から、3名の利用者が参加してきました。日頃、運動の時間に練習を行っているので、この日をとても楽しみにしていました。現地に到着すると、最初は緊張されている様子でしたが、お弁当を皆と食べたり、他の方の投げている姿を見ているうちに緊張もほぐれたようで、自分の番が来ると「頑張るよ！」とやる気スイッチが入ったようでした。結果も、それぞれの日ごろの練習の成果が出たようで、満面の笑みでメダルを藤川に持って帰ってきてくれました。達成感を味わってもらうことができ、「また次も頑張るからね！」と新たな目標が出来たようです。次の大会に向けて、楽しみながら頑張りましょう。（生活支援員 野島）

愛知県ボッチャ競技大会



12月9日に愛知県ボッチャ競技大会に参加してきました。高速道路を使い、車で1時間ほどドライブをして開催場所の稲永スポーツセンターに到着です。スポーツセンターには沢山の選手が参加していて「藤川の里チーム」もやる気満々で頑張りました。1チーム三人で2チームが出場しました。会場の熱気にのまれそうになりながら一所懸命に投げて金メダル、銀メダルを貰うことができました。（生活支援員 竹内）

クリスマス会を行いました！



12月21日に藤川の里でクリスマス会を行いました。クリスマス会では昼食がバイキング形式で提供されるため、利用者の皆様も楽しみにされておりました。昼食の時間を迎えると、皆さん皿を持って目を輝かせながら、クリスマスツリーのハンバーグや、星形のポテトなどを皿に取っており、食堂内が利用者・職員の笑顔で暖かい雰囲気に包まれていました。

おやつの中には、所長サンタと次長トナカイがプレゼントを持って登場。皆さん喜ばれました。その後、皆さんと一緒にクリスマスケーキを食べクリスマス会が無事に終わりました。終了後には、もう来年のクリスマス会のことを職員に尋ねにくる利用者もあり、とても良い1日になりました。

（生活支援員 杉林）

